大阪市里親支援センター運営事業者選定会議の審査結果について

1 開催日時 令和6年9月10日（火）9時15分～12時15分

2 審査委員（50音順）

伊藤 嘉余子（大阪公立大学 現代システム科学域教育福祉学類 教授）

種田 ゆみこ（日本公認会計士協会近畿会 公認会計士）

岡崎 倫子（大阪弁護士会 弁護士）

津崎 哲郎（NPO 法人児童虐待防止協会 理事）

3 応募事業者

<東部エリア> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団

<北部エリア> 社会福祉法人 博愛社

<中央エリア> 社会福祉法人 四恩学園

<南部エリア> 社会福祉法人 四恩学園

4 審査方法及び結果

応募のあった3者について、応募書類及び応募者へのヒアリング等により審査会議において審査を行い、審査基準に基づき、各委員が採点を行った。

評価項目ごとに採点し、合計100点のうち6割にあたる60点を基準点とし、各委員の合計得点の平均が基準点以上であった者を運営事業者として適切であると判断し決定した。

5 審査結果

評価項目	得点			
	東部	北部	中央	南部
法人の運営管理（10点）	9.0	9.0	9.0	8.8
事業に対する趣旨・目的の理解、実績（15点）	13.3	12.8	13.8	12.5
事業の円滑な運営等効果的な事業実施（65点）	52.3	52.5	55.0	49.5
地域との関係性（10点）	8.5	8.8	9.3	8.0
合計（100点）	83.1	83.1	87.1	78.8

6 決定期由

<東部エリア>

フォスタリング業務の受託実績があり、安定的に運営しているとの評価も得ていることから、これまでのノウハウを生かした業務運営が期待できる。

<北部エリア>

フォスタリング業務の受託実績があり、安定的に運営しているとの評価も得ていることから、これまでのノウハウを生かした業務運営が期待できる。

<中央エリア>

フォスタリング業務の受託実績があり、安定的に運営しているとの評価も得ていることから、これまでのノウハウを生かした業務運営が期待できる。

<南部エリア>

南部エリアについては事業実績はないが、事業者としてフォスタリング業務の受託実績があり、安定的に運営しているとの評価も得ていることから、これまでのノウハウを生かした業務運営が期待できる。中央のフォスタリング機関結いでの実績をもとに中央エリアからのサポートを受けて南部エリアでの実施体制の確立を図られたい。